



竹本家住宅 主屋、長屋及び米蔵



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	たけもとけじゅうたくしゅおくながやおよびこめぐら
所在地	新見市千屋実
指定年月日	平成26年4月25日
解説	<p>県北山間部に建つ農家。竹本家は、農林業や畜産業、養蚕業などによって財をなし、千屋村長も輩出した。現存する建物は、明治30年頃の建築で、主屋と、長屋及び米蔵が登録対象である。昭和30年以降空き家となっていたが、平成3年3月からは農村体験宿泊施設「いろりの家」として活用されている。主屋は、外壁に赤や青の色漆喰を用い2階の角には草花を模したような鏝絵(こてえ)を施すなど、左官仕事によって豊かな装飾を見せている。</p>
アクセス方法	JR伯備線「新見駅」から自動車で30分
公開状況	宿泊施設「いろりの家」として活用している
設備	トイレ  駐車場 
備考	